



校訓『誠健勤和』

富良野西中学校

《学校だより》

令和2年10月30日

10月号



樹人

生徒の一層の成長に向けて

校長 大場 八 仁

イチョウの葉が黄色く色づき、学校横の桂木緑地公園にはたくさんの銀杏の実が落ちていました。

西中の10月は、修学旅行や宿泊研修のほか、職業講話学習や教育相談などたくさんの行事が目白押しでした。生徒は、これら多くの学習の中でたくさんの人と関わり、豊かな心の育成に向けた心の成長につなげることができたと思います。秋は「実り季節」とも言われますが、この10月、心を通わす多様な体験と活動によって、西中生にとってもまさに「実りの10月」となりました。

新しい次代を見据えた学び ～特別の教科「道徳」の評価を通知表に記載～

10月13日（火）、前期学習の足跡となる通知表を配布しました。今年度から『道徳』が教科として新しく加わり、道徳の評価も記載しています。道徳では、「道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の人間としての生き方についての考えを深めること」を目標に、道徳性に係わる成長の様子を評価します。〇×だけの二者選択ではなく、多様な価値観を理解し、変化の激しい予測困難な社会で、新たな価値の発見や創造につなげながら、納得解を求め判断し行動できる生徒の育成を願い、西中では学習しています。

来年度から、新学習指導要領が中学校では完全実施されます。今回の学校だよりでは、道徳以外の改訂も行われる新学習指導要領について簡単に紹介させていただきます。

<令和3年度中学校完全実施 学習指導要領改訂のポイント>

学習指導要領は、ほぼ10年ごとに見直され、次世代の子ども達に必要な教育の在り方を全国共通の内容で示したものです。今回の新学習指導要領における改訂のポイントは以下の通りです。

(1)よりよい社会を創るという目標を共有した、社会総掛かりでの教育の実現

～新学習指導要領では、「『社会に関かれた教育課程』の実現」との文言で示されています。

(2)「何ができるようになるか（育成すべき「資質・能力」）」の明確化

～①知識・技能 ②思考力、判断力、表現力等 ③学びに向かう力・人間性等 の3つに整理

(3)「何を学ぶか」を再構築 ～新しい時代に必要な資質・能力を踏まえた教科等の新設や内容の見直し（プログラミング教育の実施や小中学校での道徳の教科化 等）

(4)「どのように学ぶか」による学習過程の改善

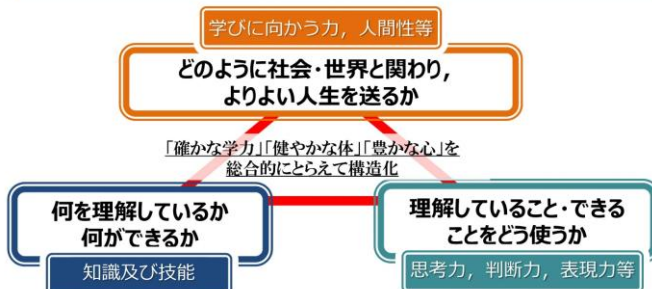
～新しい時代に必要な資質・能力を育む『主体的・対話的で深い学び』となる学習過程の重視（アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善）

※特に、(2)の育成すべき資質・能力は、これまでの「生徒に何を教えるか」から、「生徒は何ができるようになるか」との生徒の視点に立った学力観に転換がなされ、その獲得（定着）のためにどのような学習が必要であることを示すことにつながる、大きな改訂のポイントになっています。

西中でも、来年の完全実施に向け、学習計画や指導方法等準備を進めています。

育成すべき資質・能力の三つの柱

学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。



10月の西中

ZERO 運動月別目標

「学習への取り組みを見直そう！」

月別 保健目標

「目の健康を見直そう！」

思い出いっぱいの修学旅行（3年）

待ちに待った道南方面への修学旅行・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期になった修学旅行が、10月8日から10日までの2泊3日の日程で行われました。生徒の体調面を考慮して、昨年より1泊少ない宿泊的行事でしたが、生徒は修学旅行に行くことができる環境を整えてくれた方へ感謝の気持ちを言葉に表しており、精神的にも成長している生徒たちだと改めて思いました。

事前学習から熱心に取り組み、修学旅行当日は天気にも恵まれ、思う存分、仲間と協力しながら学習し、そして楽しみました。学校に戻ってきてからは、修学旅行で学習した内容を一人一人が新聞にまとめ、校舎2階に掲示しています。

この修学旅行で得た経験をこれからの学校生活に生かし、さらなる飛躍を期待しています。



実り多い宿泊研修（2年）

10月1日、2日に大雪交流の家で行われた宿泊研修。責任感や素直な心を持ち、けじめをつけて生活することを目的に実施した宿泊的行事において、随所に生徒の頑張りが見られました。1日目、メインの活動はウォークラリー。班で協力しながら山道を歩き、絆を深めました。2日目、メインの活動は感染リスクを低減した上で実施した炊事。班で役割を分担しながら責任をもって行動し、その結果、どの班もおいしいカレーをつくり上げました。食べている時の生徒の笑顔は印象的でした。

この1泊2日の宿泊研修でたくましくなった2年生。さらなる高みをめざしてこれからの学校生活を過ごしてほしいと思います。



見た目も素晴らしいカレー

きれいに並べられた靴



職業講話学習（2年）～先人の経験談を聞いて学ぶ～

今年はコロナ禍のため、職業体験学習に代わり職業講話学習を実施しました。10月22日の午前中は、青年海外協力隊としてウガンダで働いた経験をもつ小田島裕一さんが人生設計をテーマに講話を行いました。午後は富良野市で活躍されている「富良野振興公社の吉田均さん」、「株式会社北菱の加賀谷哲男さん」、「Kスポーツの小玉佳史さん」、「富良野消防署の鶴田基さん」より、各分野での仕事の様子や仕事を通じた喜び等、経験に基づく話があり、今後の生徒の進路にとって、大きな示唆を与えていただきました。



進路学習（1年）

現在、1年生では、総合的な学習の時間を利用して「進路学習」を行っています。1回目は働くことの意義について、2回目は高校について、3回目は現在の自分自身の学習点について考え、知ることができました。早い段階から進路選択について考えることは大切なことです。ご家庭でも話題にいただけると幸いです。



図書室に行ってみませんか

湯本学校図書館司書が、生徒全員にたくさんの本を読んでほしいという思いから、図書室後方に新しく入荷した本等を紹介するコーナーを設けています。

また、図書室の机を旧山部中学校から運んで古い机を入れ替えました。

是非、図書室に足を運んで「読書の秋」を体感してください。



生徒総会

10月16日、後期生徒総会を実施しました。コロナ禍のため、前期生徒総会同様、放送を活用して行いました。体育館には、前後期生徒会役員や各学級の代表者のみが集まり、学級で議案書を検討したときに出た質問や意見を発表し、役員は真摯に回答していました。

この総会后、後期の生徒会が始動します。前期同様、素晴らしい活動になることを期待しています。



問題を解いてみませんか

11月6日、3年生にとっては大切な中間テストがあります。そこで、3年生の係の生徒が各教科の身に付けてほしい学習内容を問題にした用紙を掲示板に貼り、休み時間等を使って解くことを目的として学習掲示物を作成しました。

3年生の合い言葉にもなっている「受験は団体戦」を実現した取組です。うまく活用してほしいと思います。



教育実習終了

本校の卒業生でもある青木賢右さんが、10月5日から23日までの3週間、教育実習を行いました。専門の数学を指導する技術はもちろん、生徒とのふれあいから生徒指導のあり方について実習を積みました。

この3週間で学んだ経験を生かし、素晴らしい教員として活躍されることを期待しています。



富良野市児童生徒作品展

富良野市児童生徒作品展が、下記の3会場で開催されます。お忙しい時期とは存じますが、会場に足を運んでいただき児童生徒の作品を鑑賞していただきたいと思います。

○富良野会場 文化会館（11/3～11/5）

○山部会場 山部小（10/17）

※入場は保護者と一部地域の方のみ

○東山会場 東山公民館（11/2～11/3）

11月

不審者侵入防止のため、生徒の登校後、生徒玄関の鍵を施錠しております。遅刻での登校や先生方に用事がある場合等は職員玄関からお入りください。ご不便をお掛けしますが、ご理解の程、よろしくお願い致します。



2日（月）心に響く道徳教育
*講師：西本伸顕氏
（ふらのまちづくり株式会社代表取締役社長）
3日（火）市教研作品展（～5日）
4日（水）全校集会 常任委員会
定時退勤日
6日（金）3年中間テスト
9日（月）職員会議

11日（水）3年学力テスト
16日（月）校内研修 学年会議
定時退勤日
17日（火）英検ⅠBA
20日（金）全学年三者面談
*部活動中止
（～27日）



【三者面談について】
11月20日から全学年全生徒を対象とした三者面談がはじまります。進路のことはもちろん、生活面や友達との関係等、気軽に相談していただきたいと考えております。

